

2021年5月13日

各 位

会 社 名 セーラー広告株式会社  
代 表 者 代表取締役社長 村上 義憲  
(コード 2156 東証 JASDAQ)  
問 合 せ 先 総務局長 西分 太郎  
(電話 087-825-1156)

法人税等調整額の計上および  
親会社株主に帰属する当期純利益に関する前年実績との差異について

当連結会計年度(2021年3月期)におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、イベントの開催中止や延期のほか、広告活動の自粛などがあり、広告出稿量が相対的に減少した結果、当社グループの売上高は6,271百万円(前期比76.3%)となりました。利益面につきましては、内制化の推進による利益率の向上と営業活動費の減少に伴う販売費及び一般管理費の抑制等がありましたが、営業損失は132百万円(前期は74百万円の営業利益)、経常損失は83百万円(前期は90百万円の経常利益)となりました。また、当社グループにおいて、今後の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、法人税等調整額△32百万円を計上し、親会社株主に帰属する当期純損失は79百万円(前期は19百万円の親会社株主に帰属する当期純利益)となりました。

なお、経営成績等の詳細につきましては、本日公表の『2021年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)』をご参照ください。

(参 考)

2021年3月期連結経営成績(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)
前回予想(A)	6,300	△150	△100	—
今期実績(B)	6,271	△132	△83	△79
増減額(B-A)	△28	17	16	—
前回予想比増減(%)	△0.4	11.6	16.7	—
(ご参考)前期実績(C) (2020年3月期)	8,217	74	90	19
増減額(B-C)	△1,945	△207	△173	△98
前期比増減(%)	△23.7	—	—	—

以上